

中野区保育ニーズ調査速報値（単純集計）について

子ども・子育て支援事業計画中間の見直しにあたり実施した、中野区保育ニーズ調査の速報値（単純集計）を報告する。

1. 調査概要

- (1) 調査対象 乳幼児（0歳～5歳）の保護者
 (2) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
 (3) 調査方法 郵送配布・回収による無記名アンケート
 (4) 調査期間 平成29年7月28日～8月23日まで

2. 回収状況

調査対象	発送件数	回収件数	回収率
乳幼児（0～5歳）	2,500	1,691	67.6%

3. 速報値（単純集計）の概要

- (1) 保護者（母親）の就労状況
 ○63.2%の母親がフルタイム、パート・アルバイト等で就労しており、前回の調査より働く母親の割合が増加している。
 ○1週あたりの就労日数は、5日が最も多く、1日あたりの就労時間は、7時間以上が最も多くなっている。
- (2) 平日の定期的な教育・保育施設の利用状況
 ○幼稚園、保育園などの教育・保育施設は70.7%の保護者が利用している。
 ○教育・保育施設を利用している保護者のうち、定期的に利用している教育・保育事業は、「保育施設」が65.3%、「幼稚園」が30.6%、「家庭的保育事業等」が4.1%で、家庭的保育事業等を含めた保育施設等は69.4%となっている。
- (3) 定期的に利用させたい教育・保育施設
 ○現在、利用している利用していないにかかわらず、就学前の6歳までの間に保育園や幼稚園の利用を希望する保護者は、99.2%とほぼ全ての保護者が教育・保育施設の利用を希望している。
 ○利用させたい施設は「保育施設」が55.9%、「幼稚園」は43.2%となっている。
 ○利用させたい保育施設では「保育園」が91.8%、次いで「認定こども園(保育園枠)」が7.5%となっている。
 ○利用させたい幼稚園では、「幼稚園（通常の就園時間）」が75.3%、次いで「幼稚園

の2歳児からの利用」が16.0%、「認定こども園（幼稚園枠）」が8.7%となっている。

(4) 保育園から幼稚園利用への変更希望

○保育園の利用から幼稚園の利用に変更を希望する保護者は11.5%、変更を希望しない保護者は88.5%となっている。

4. 今後の進め方

本調査結果を踏まえ、『中野区子ども・子育て支援事業計画』の中間見直しにおける教育・保育の需要見込みを検討する。